

競 技 注 意 事 項

本大会は、2018年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会要項および申し合わせ事項によって行う。

- 1 練習は、補助競技場および雨天練習場（使用方法について下記参照）を原則とする。砲丸投の練習は、係員の指示に従って補助競技場内トラック外側の砲丸投ピットのみで行う。

補助競技場の使用について

レーンの使用については以下の通りである。

- ・ 1～2レーンは周回練習のみ使用可とする。
- ・ 4～6レーンは短距離練習のみ使用可とする。
- ・ ブロックを使用してのスタート練習は多目的広場側直走路5～10レーンのみとする。
- ・ 多目的広場側直走路7・8レーンは女子100mH、9・10レーンは男子110mHとする。
※国体記録挑戦会での実施種目、少年共通男子110mH・少年B女子100mHに出場する選手は10時30分以降、ハードルを利用した練習を行うようにしてください。
- ・ 小学生陸上でリレーに参加するチームのバトン練習は用具倉庫前第2コーナー付近を利用して行うこと。
※第4コーナー付近でのリレー練習は行ってはならない。

雨天練習場の使用について

- ①雨天練習場でのピストルの使用は禁止する。
- ②雨天練習場へは、第2ゲート側の入り口より入場することができる。第3ゲートからの出入りは禁止する。
- ③シート等を敷いて独占的な使用をすることを絶対にしない。
- ④ウォーキング・ジョギングなどペースが著しく遅いウォーミングアップまたは、動きづくり程度の練習は行ってもよい。以外は、補助競技場で行うこと。
- ⑤ウォーキング・ジョギング等は、左回りとし、逆走はしない。
- ⑥ハードルは使用できない。

2 スパイクシューズの制限について

全天候競技場であるため、スパイクの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳は12mm以下とする。

3 ナンバーカードについて

- ①ナンバーカードは指定の大きさのまま数字が明瞭に見えるように、ユニフォームの胸と背につけること。ただし、跳躍競技（走高跳）に出場する選手はどちらか一方でもよい。
- ②トラック競技に出場する選手は、主催者が準備した腰ナンバー標識を必ずパンツの右横やや後方につけること。競技終了後必ず係員に返却すること。

4 選手招集について

- ①選手招集場所は第4ゲート付近とする。
- ②選手招集完了時刻はトラック競技開始20分前、フィールドは競技開始30分前とする。
- ③混成種目の選手招集は第一種目競技開始の20分前を招集完了時刻とする。
- ④招集完了時刻に遅れた選手は、棄権とみなす場合があるので時間を厳守すること。
- ⑤混成種目の選手は第二種目以後、現地に競技開始20分前までに集合すること。
- ⑥やむを得ず棄権する場合は、競技者係に申し出ること。

5 競技用具について

- ①競技に使用する用具は、主催者が用意したものを使わなければならない。
- ②練習用としても、個人の用具を競技場に持ち込んではいない。

6 競技について

①競技順は、プログラム記載の番号順とする。

②トラック競技のスタートについては、下記のとおりとする。

「不正スタートについては、各レースでの不正スタートは1回目からすべて失格とする。」

③スターターの合図は英語とする。(「On your marks」、「Set」)

④小学生のスタートの合図は日本語とする。

⑤小学生のスタートはクラウチングスタートを原則とするが、スタンディングスタートも認める。スタートは同じ競技者が2回の不正スタートをしたとき、その競技者を失格とする。

⑥その競技をする選手以外は、トラックおよびフィールド内に立ち入ることはできない。

⑦短距離走では選手の安全のため、決勝線到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。

⑧跳躍・投てき競技の試技回数は3回とする。また、競技場内での跳躍・投てき練習は審判員の指示によって行うものとする。

⑨国体記録挑戦会種目(男子少年B砲丸投・女子少年共通砲丸投)については試技3回ののち、TOP8を決定し、さらに試技3回行うものとする。

7 走高跳(中学4種競技)のバーの上げ方(ただし選手の記録により変更あり)

| | | | | | | | | | | |
|-----|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-------|
| | | 練習 | | | | | | | | 以降 |
| 走高跳 | 男子 | 135 | 140 | 143 | 146 | 149 | 152 | 155 | 158 | 3cm刻み |
| | 女子 | 115 | 120 | 123 | 126 | 129 | 132 | 135 | 138 | 3cm刻み |

8 競技場への入退場について

種目別入退場口は下記の通りとする。各ゲートへは競技場外周を利用して移動すること。

第1ゲート：第1コーナー付近からスタートするトラック競技

第2ゲート：投てき競技・ソフトボール投

第3ゲート：第3コーナー付近からスタートするトラック競技および走高跳

第4ゲート：100m付近からスタートするトラック競技および走幅跳

9 記録掲示について

競技場メインスタンド下正面玄関付近に掲示する。

10 その他

応急処置を要する場合やその他健康上の問題が生じた場合、正面スタンド下の大会本部に連絡すること。

平成30年度 国民体育大会愛媛県代表選手標準記録

| | 男子 | | 女子 | |
|---|------|------------------------------------|------|---------------------|
| 110mH (0.991m/9.14m) 100mH(0.762m/8.5m) | 少年共通 | | 少年B | |
| | A | 14.00 (Jr.) 14.40 | A | 14.10 (YH) 14.60 |
| | B | 14.50 (Jr.) 14.80 | B | 14.50 (YH) 14.90 |
| | 少年B | | 少年共通 | |
| 男子砲丸投(5.000kg) 女子砲丸投(4.000kg) | A | 15m50 (5.000kg) 14m00 (6.000kg) | A | 13m30 |
| | B | 14m50 (5.000kg) 13m00 (6.000kg) | B | 12m50 |

本大会において、第45回全日本中学校陸上競技選手権大会参加標準記録を突破した者は、第45回全日本中学校陸上競技選手権大会への出場権が与えられる。

【全日中参加標準記録】男子四種競技 2500点 女子四種競技 2630点